



第68期 決算のご報告

2019年8月21日～2020年8月20日



本社・工場



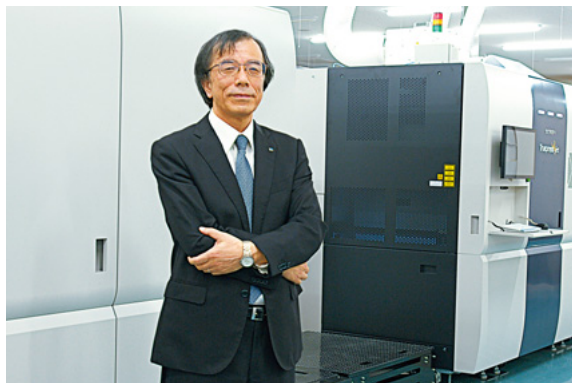
 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地
TEL(076)267-5111(代) FAX(076)267-8065
URL <http://www.fuku.co.jp/>

福島印刷株式会社

証券コード 7870

株主のみなさまへ



代表取締役社長 **しもはた まなぶ**
下 島 学

私たちは「コミュニケーション適切化」のご支援を大切なミッションとしています
顧客体験の手段や接点の多様化が進展するなか「メーリングサービス革新」も
技術革新とクリエイティブな創造性の両面から可能性を追求してゆきます
変化に挑戦し「期待され続ける」継続的な改善と信頼の蓄積に努めてまいります

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第68期(2019年8月21日から2020年8月20日まで)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の緩やかな改善傾向が続き、景気は回復基調で推移してまいりました。しかし、米中

貿易摩擦などにより海外経済に影響が出てくるなど、依然として先行き不透明な状況が続いていることに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い国内外の経済活動が急速に悪化していることなどから、先行きはより一層不透明感が深まる状況となりました。

印刷業界におきましては、依然としてWeb化等による印刷需要の減少が続くなか、競争激化

による受注価格下落の影響が顕在化するなど、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は引き続き最新鋭の印刷機等設備導入により生産体制の強化を図るとともに、今後の市場の変化に対応すべくDP(データプリント)サービスの製品開発やサービスの充実、販売マネジメントの強化による創注や原価構造改善に積極的に取り組んでまいりましたが、年度末にかけ新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上高は計画を下回りました。

この結果、当事業年度の売上高は前事業年度を49百万円(0.6%)下回る77億30百万円となりました。また、利益面においては、営業利益が2億8百万円(前事業年度比46.6%減)、経常利益が2億17百万円(前事業年度比45.7%減)、当期純利益が1億39百万円(前事業年度比47.6%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は景気の回復基調が続きましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により国内外の経済環境が急速に悪化するなど、景気の先行きには予断を許さない状況が続いております。

印刷業界におきましても、従来からのWeb化等による印刷需要の減少傾向に加えコロナ禍の影響もあり、価格競争の激化や原材料の値上げも懸念されるなど、引き続き取り巻く環境は厳しいものと予想されます。

一方で新型コロナウイルス感染症によりライフスタイルや社会情勢の変化が予想され、新たなサービスへの市場の期待も高まってくものと予想されます。

このような状況を踏まえ、当社としては、引き

続き最新鋭の印刷機等設備導入により生産体制の強化を図るとともに、「さいたまサテライト」の有効活用や、独自技術によるDP(データプリント)を中心としたサービスを強化し、さらなる差別化を推進してまいります。当社サービスの充実・拡大のための技術開発とその市場創造に注力し、顧客のBPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)ニーズのさらなる取り込みを目指します。また、受注のベースとなる品質保証と情報セキュリティ体制についても、より一層の強化を図ってまいります。

営業部門では、引き続き大都市圏での販売力強化とともに、強力な商品サービスの創造、販売マネジメントと顧客管理技術の高度化に取り組めます。

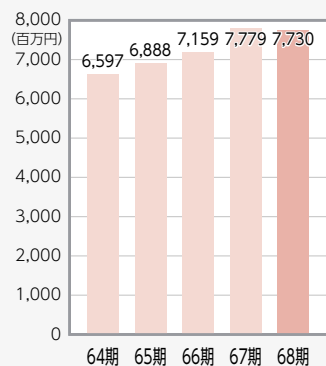
設計部門では、生産前部門の生産性向上を図ると同時に、より一層のコストダウンと顧客サービス向上のための情報設計力、運用力強化の取り組みを継続いたします。

さらに、人材育成が重要課題の一つであるとの認識に基づき、メーリングサービスの拡大に不可欠なIT系知識を蓄えるための資格取得支援制度を全社展開するなど、市場の要求に応える人材の育成に努めてまいります。

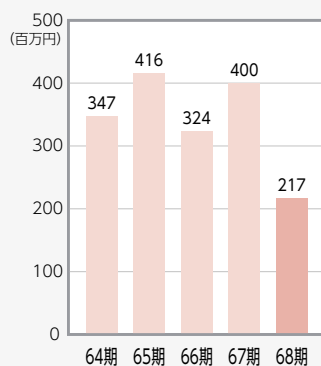
また、この度の世界的な新型コロナウイルス感染症拡大を受け、代表取締役社長を事務局長とする「緊急処置事務局」を設置し対策を講じてまいりました。引き続き事業継続に最善を尽くしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

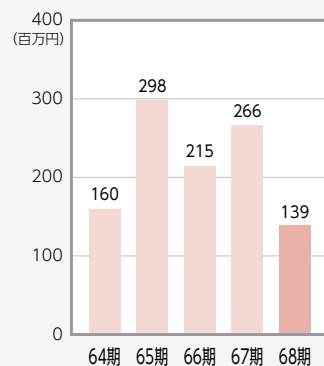
■売上高



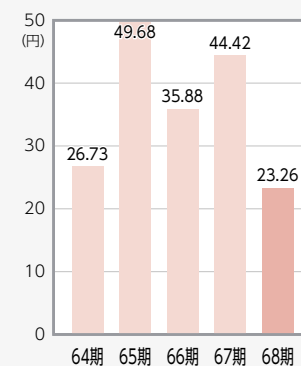
■経常利益



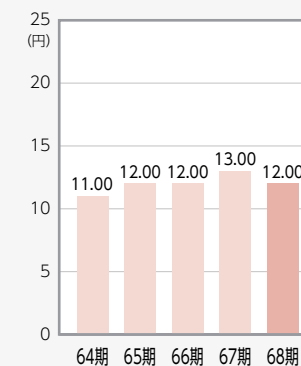
■当期純利益



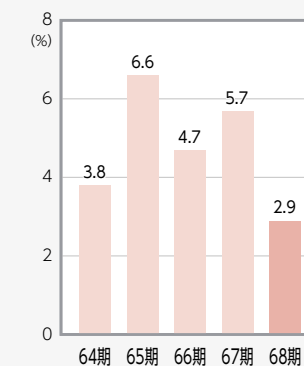
■1株当たり当期純利益



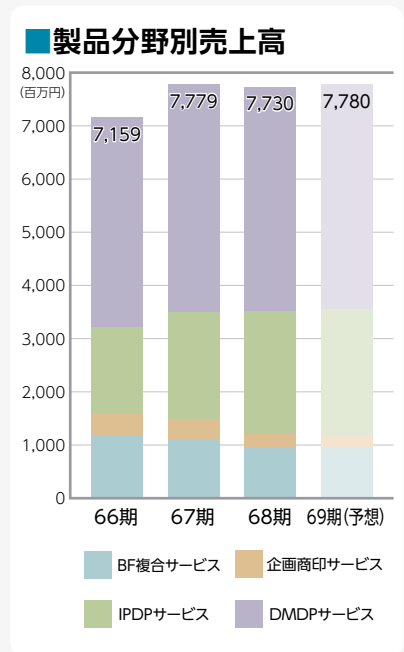
■1株当たり配当金



■自己資本利益率(ROE)



製品分野別売上高



福島印刷の

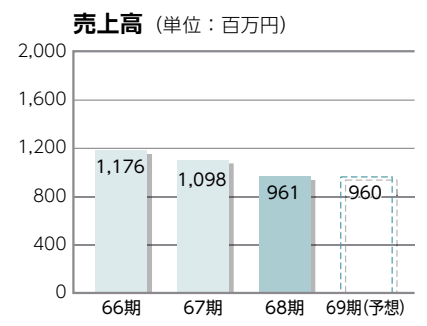
新4分野による複合サービスの実現

当社は情報発信のパートナーとして、「コミュニケーション エイジェント」という新しいビジネスモデルを目指しています。お客様の情報発信は多様で、その手段、ツールにも様々な選択肢があります。そこからお客様視点に立ち多様な可能性を求めて、4つのサービス形態を整備拡張しています。

BF(ビジネスフォーム)複合サービス

- コンピュータ用帳票
- 一般帳票
- シール・ラベル など

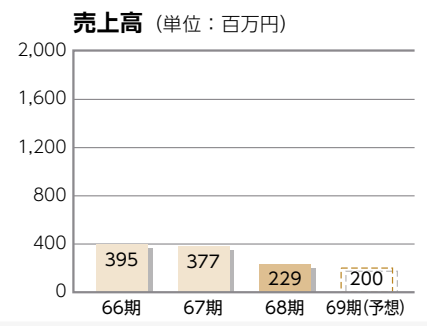
BF複合サービスは、コンピュータ用帳票に代表される機械加工を伴った帳票印刷分野です。Web化に伴うペーパーレス化が進み、市場全体での需要量の減少傾向が続いていることから、売上高は前事業年度を1億36百万円(12.4%)下回る9億61百万円となりました。



企画商印サービス

- 広告宣伝用印刷
- マニュアル印刷 など

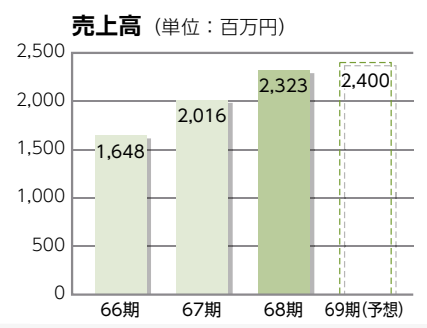
企画商印サービスは、パンフレットやカタログに代表されるビジュアル印刷物の分野です。主要DPサービスとの相乗効果が見込めない頁・文字物印刷からの撤退影響もあり、売上高は前事業年度を1億47百万円(39.2%)下回る2億29百万円となりました。



IPDP (インフォメーションプロセッシングデータプリント) サービス

- 請求書等発行処理受託
- 各種行政サービス印字処理
- 各種通知案内印字処理受託 など

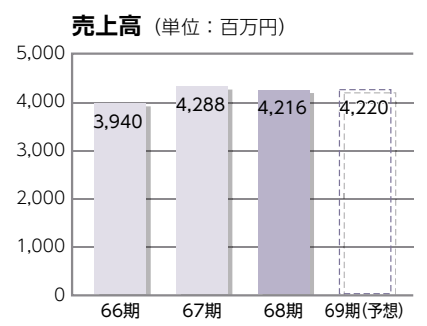
IPDPサービスは、企業が定期的に発送する請求書や官公庁が住民に発送する各種通知書など、事務通知書類のデータプリントから、封入封緘などの後処理、メール発送までを代行するサービス分野です。コロナ禍におきましても必要となる通知物が堅調に推移したため、売上高は前事業年度を3億7百万円(15.2%)上回る23億23百万円となりました。



DMDP (ダイレクトメールデータプリント) サービス

- ダイレクトメール
- ダイレクトメール処理受託
- データベースオンデマンド印刷 など

DMDPサービスは、お客様の顧客データベースが進化するなかで、有力な販促物を提供するサービス分野として発展しました。デジタル印刷技術を駆使した次世代の紙メディアの価値創出に注力したものの、コロナ禍の影響によるイベント中止などDM案件の減少により、売上高は前事業年度を72百万円(1.7%)下回る42億16百万円となりました。



当社「ならでは」の取り組み

新型コロナウイルス感染症対策

この度の世界的な新型コロナウイルス感染症拡大を受け、当社では代表取締役社長を事務局長とする「緊急処置事務局」を設置し、社員の安全確保とBCP(Business continuity plan / 事業継続計画)対策を講じてまいりました。

■間接接触感染防止策の徹底

「感染しない／させない」ための、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気、手洗い・消毒といった基本的な対策を全社員で徹底しております。それにくわえて、ビニールシートでの入室制限や、共用部分の定時消毒作業など、部署ごとに検討した対策を現在も自主的に講じております。



入館時消毒の徹底



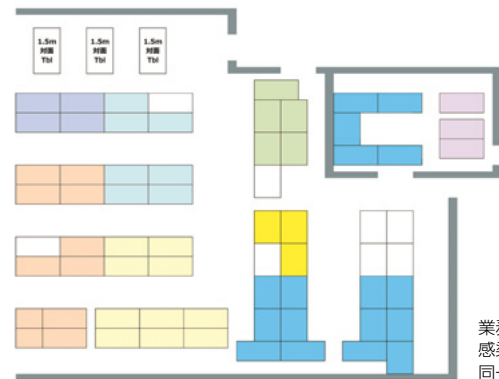
ビニールシートで入室制限



基本対策徹底の社内掲示物

■業務エリア分離対策でBCP強化

感染者が発生した場合に備え、「チーム間濃厚接触の回避」を基本方針とした業務エリア分離を行いました。通常は近隣エリアで業務を行うチームメンバーを、別のフロアの課やチームとメンバーを入れ替えたり、通常は会議室に使用しているスペースを業務エリアとして利用し、限られたスペースの中でもチーム単位での濃厚接触を回避する対策を講じました。印刷加工機械等を取り扱う製造部門のように業務エリア分割ができない部署では、シフト体制により接触頻度を削減し、中核事業の停止といった最悪のシナリオを回避するBCP対策強化を行いました。



業務エリア分離後の配置図一例(生産技術部フロアの一部)。感染者が発生した場合に備え、同一作業を行うチームメンバーを分散して配置。

コロナ禍の新常態に合わせた福島印刷体験の模索

当社ではお客様の工場視察や監査でのご来社を、福島印刷を体験いただくとともに、お客様からのインプットを活かして当社の取り組みやプロセスの改善を行う大切な機会として位置づけておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2020年2月下旬よりお客様ご来社数は激減しました。このようなコロナ禍において、ご来社いただけないお客様にも積極的に当社を紹介する企画に力を入れております。

■バーチャル工場視察で

より多くのお客様に福島印刷体験を

これまでもご来社いただいたお客様には、当社の製品・サービスに対する安心感と期待感を十分に感じていただけるよう「魅力的な工場視察」と題して、ご案内しております。現在Web会議を利用した面談が増加している新たな機会において、より多くのお客様に当社の魅力を知っていただけるように、バーチャル工場視察コンテンツを準備しております。当社主力機である大きな高速8色輪転印刷機や高精細ロール式大型インクジェットプリンタの臨場感あふれる稼働映像や、本社全景のドローンによる映像などを交え、当社のセキュリティ体制や取り組みをリアルに体感いただけるコンテンツを作成しております。



当社主力印刷機BB36を紹介するコンテンツ



ドローンで撮影した当社全景

■当社の品質保証を映像化

お客様はじめステークホルダーの皆さまとの長期信頼のために大切にしているプロセス保証。そしてこのプロセス保証を行うために欠かせない「行為保証」(=目的意識を持った動作の保証)。生産現場に携わる一人ひとりが行為保証を実現するために、また当社の品質保証をお客様へ分かりやすく説明するために、行為保証の実態シーンの映像化を行っています。生産現場の教育資料としてはもちろん、ご来社いただけないお客様にも当社の品質保証を知っていただくための資料として、コンテンツ作成に取り組んでおります。



社員自らが各製造工程の行為保証を一つ一つ撮影し、自社でコンテンツ作成を行っています。

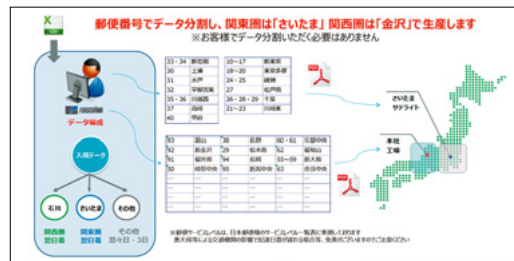
当社「ならでは」の取り組み

メーリングサービスの拡大

■印刷用電子文書作成システム「分割投函サービス」で特許を取得

以前より大好評いただいております「分割投函サービス」が、このたび特許を取得いたしました。(特許第6737659号)

このサービスは、お客様の宛名データを生産拠点別にデータ編成し、郵便番号「関東圏」はさいたまサテライトにて、それ以外は本社にて製造を行うことにより、お客様の配達日数短縮ニーズ



にお応えすることができます。また郵便料金の合計が最小値となるよう分割することも可能で、郵便割引のメリットもあわせてご活用いただけるサービスです。

現在はがきパックやデイリー案件で活用している当サービスを、今後は新たな仕様でも利用できる検討を進め、より一層ご活用いただけるサービスにつなげていく所存です。

■安定した品質をバックアップ「デジタル画像比較システム」

当社主力機である大型インクジェットプリンタに、デジタル画像比較システム「レトロインスペクション」を導入いたしました。これは、プリンタ制御系のバージョンアップ前後の印刷用画像データをデジタル上で比較し、差分の有無をチェックすることができるシステムです。これまでテストデータを使った出力結果の目視チェックは実施していましたが、テストデータではカバーしきれない様々なデータ形式において、印字のずれや色差といった予期せぬ仕上がりが発生していないかどうかを検出可能で、品質保証の強化につながりました。今後出力部門にとどまらず他部門でも活用できないか検討を進めております。



差分チェック時の画面サンプル

新設備導入、その後… Truepress Jet520HD

●生産性が向上し働き方改革にも寄与



当社主力機である高精細ロール式印刷機「Truepress Jet520HD」の増設から約1年が経過しました。従来機では選択できなかったコート紙への印刷が可能となり、近赤外線による効率的な乾燥技術により、高濃度でクリアな仕上がりが実現しました。また、従来は24時間稼働で生産にあっていましたが、2台稼働体制になったことにより、深夜勤務を減らす新シフト体制へ無理なく移行することができ、働き方改革にも寄与しました。

働き方改革の取り組み

昨年に引き続き、社員が働きやすい環境づくりに力を入れてまいりました。

・有給休暇5日以上取得 全社員達成

法令により、有給休暇を10日以上付与される者が1年以内に5日以上有給休暇を取得する定めを受け、安全衛生環境委員会が中心となり、昨年からの計画的な有給休暇取得の意識付けを行った結果、68期は該当社員全員が年5日以上の有給休暇を取得することができました。

・深夜帯勤務の減少 新シフト体制へ切り替え

働き方の見直しと生産性向上の両立を目指し、製造部では2020年2月より新シフト体制での運用を開始しました。生産開始時間の前倒しと深夜時間の生産禁止帯を設定することで日中の稼働時間を増やし、深夜帯の勤務時間が減少しました。

・働く空間の見直し

課員が中心となり、働く空間の見直しが積極的に行われた1年でした。一例ですが、DW室(データ処理部門)では、新たにリフレッシュスペースを設置しました。休息とコミュニケーションを図ることで、高い集中力が継続的に必要なメンバーの作業パフォーマンス向上が期待できます。

また管理本部では、フロア的大幅なリニューアルを実施しました。書類やデスク周りを整理整頓し、空いたスペースは打合せや休憩場所として有効活用しています。また、パーティション工事を実施し、全社員が利用できる会議スペースとして「多目的ルーム」を新設しました。



DW室リフレッシュスペース



新会議スペース「多目的ルーム」

人材育成の取り組み

データプリントサービスの成長を背景に、ITスキル強化を目指し2012年4月より開始した教育投資制度は、ベース資格と定めた「ITパスポート試験」の社員合格者は190名を超え、さらにITパスポートを除く各種情報処理試験では、高度情報処理技術者試験合格者40名や、組織における情報セキュリティ確保の基本的なスキルを認定する「情報セキュリティマネジメント」の合格者が50名を超えるなど、のべ100名以上の合格者を輩出しております(2020年8月時点)。当期より導入した新資格取得制度では報奨金対象の資格が増えたことにより、フォークリフト技能講習取得者や、有機溶剤作業主任資格といった、日々の実務に結び付く資格取得を目指す社員が増えました。

財務諸表

貸借対照表

科目	単位:千円	
	前事業年度 (2019年8月20日)	当事業年度 (2020年8月20日)
[資産の部]		
流動資産	2,528,267	2,547,886
現金及び預金	599,346	969,145
受取手形	60,108	34,848
電子記録債権	384,406	254,084
売掛金	1,165,303	929,158
製品	44,430	45,400
半製品	38,968	54,045
仕掛品	109,107	139,800
原材料	63,519	58,248
貯蔵品	20,270	23,064
未収還付法人税等	—	3,104
その他	43,388	37,426
貸倒引当金	△ 582	△ 442
固定資産	4,599,647	4,634,914
有形固定資産	4,160,322	4,129,531
建物	1,171,311	1,228,256
構築物	11,139	14,789
機械及び装置	1,536,304	1,304,479
車輜運搬具	929	2,912
工具器具備品	147,486	109,859
土地	965,106	965,106
リース資産	328,045	494,009
建設仮勘定	—	10,120
無形固定資産	144,071	196,498
ソフトウェア	133,756	187,965
リース資産	5,897	4,114
その他	4,417	4,417
投資その他の資産	295,252	308,884
投資有価証券	124,724	149,230
出資金	3,570	3,570
破産・更生債権等	1,699	1,460
繰延税金資産	133,080	120,412
その他	33,878	35,671
貸倒引当金	△ 1,699	△ 1,460
資産合計	7,127,915	7,182,800

科目	単位:千円	
	前事業年度 (2019年8月20日)	当事業年度 (2020年8月20日)
[負債の部]		
流動負債	1,630,047	1,527,042
買掛金	348,340	295,665
短期借入金	490,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	20,040	20,040
リース債務	145,882	212,014
未払金	134,442	253,995
未払費用	272,914	279,962
未払法人税等	103,290	15,219
賞与引当金	99,117	92,359
預り金	840	24,848
役員賞与引当金	13,200	11,000
その他	1,979	1,937
固定負債	706,907	783,745
長期借入金	254,910	234,870
リース債務	223,245	339,341
退職給付引当金	174,172	154,953
長期未払金	40,685	40,685
資産除去債務	13,895	13,895
負債合計	2,336,955	2,310,787
[純資産の部]		
株主資本	4,758,373	4,819,931
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
資本準備金	285,200	285,200
利益剰余金	4,013,286	4,074,844
利益準備金	96,200	96,200
その他利益剰余金	3,917,086	3,978,644
固定資産圧縮積立金	200,999	200,999
別途積立金	2,505,000	2,505,000
繰越利益剰余金	1,211,087	1,272,645
自己株式	△ 113	△ 113
評価・換算差額等	32,586	52,082
その他有価証券評価差額金	32,586	52,082
純資産合計	4,790,959	4,872,013
負債及び純資産合計	7,127,915	7,182,800

(記載金額は千円未満切捨)

損益計算書

科目	単位:千円	
	前事業年度 (自 2018年8月21日 至 2019年8月20日)	当事業年度 (自 2019年8月21日 至 2020年8月20日)
売上高	7,779,679	7,730,657
売上原価	5,972,810	6,152,982
売上総利益	1,806,869	1,577,674
販売費及び一般管理費	1,416,617	1,369,119
営業利益	390,251	208,554
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,621	2,586
作業くず売却益	13,533	10,205
その他の	5,164	7,702
営業外費用		
支払利息	11,368	11,545
その他の	26	8
経常利益	400,176	217,494
特別利益		
固定資産売却益	199	—
投資有価証券売却益	—	199
特別損失		
固定資産除却損	10,830	7,084
投資有価証券評価損	1,086	391
税引前当期純利益	388,459	210,019
法人税、住民税及び事業税	131,500	63,200
法人税等調整額	△ 17,652	7,266
過年度法人税等	8,090	—
当期純利益	266,520	139,553

(記載金額は千円未満切捨)

財務諸表

株式の情報

株主資本等変動計算書

(2019年8月21日～2020年8月20日)

単位:千円

	株主資本						自己株式	株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 準備金	利益剰余金					その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
				その他利益剰余金							
				固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金					
2019年8月21日残高	460,000	285,200	96,200	200,999	2,505,000	1,211,087	△ 113	4,758,373	32,586	32,586	4,790,959
事業年度中の変動額											
剰余金の配当						△ 77,995		△ 77,995			△ 77,995
当期純利益						139,553		139,553			139,553
自己株式の取得								-			-
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									19,495	19,495	19,495
事業年度中の変動額合計						61,558	-	61,558	19,495	19,495	81,053
2020年8月20日残高	460,000	285,200	96,200	200,999	2,505,000	1,272,645	△ 113	4,819,931	52,082	52,082	4,872,013

(記載金額は千円未満切捨)

キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科 目	前事業年度	当事業年度
	(自 2018年8月21日 至 2019年8月20日)	(自 2019年8月21日 至 2020年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	880,355	1,194,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 741,157	△ 364,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 159,896	△ 460,017
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 20,697	369,799
現金及び現金同等物の期首残高	562,444	541,746
現金及び現金同等物の期末残高	541,746	911,545

(記載金額は千円未満切捨)

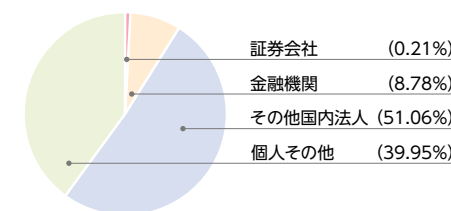
株式の状況

- ①発行可能株式総数 24,000,000株
- ②発行済株式の総数 6,000,000株
- ③株主数 1,961名
- ④大株主

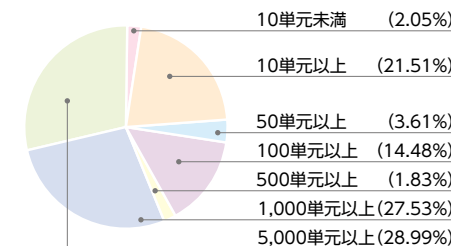
株 主 名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	出資比率(%)
株式会社 アジリスト	1,739	28.99
名古屋中小企業投資育成株式会社	473	7.89
北国総合リース株式会社	304	5.07
株式会社 北国銀行	280	4.67
福島印刷従業員持株会	264	4.41
山崎久子	120	2.00
三菱王子紙販売株式会社	110	1.83
株式会社ダイクコーポレーション	100	1.67
三井住友信託銀行株式会社	60	1.00
三菱製紙株式会社	50	0.83

株式の分布状況

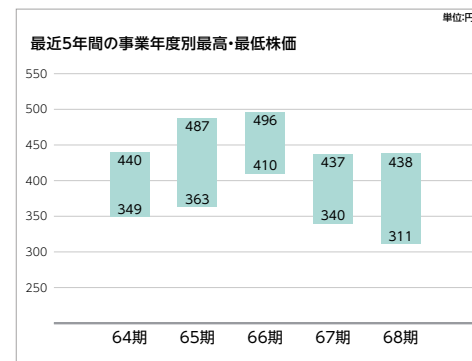
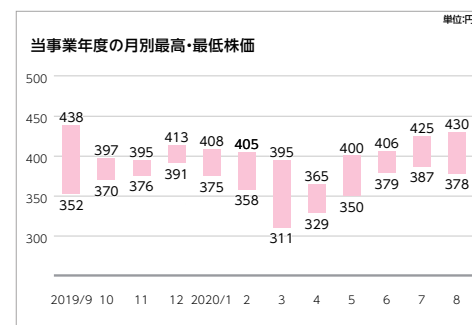
所有者別(株式数比率)



所有単元数別(株式数比率)



株価の推移



(注)名古屋証券取引所における高値・安値を表示しております。当事業年度の月別最高・最低株価は、毎月1日より月末のものであります。



(上段、左より) 堺、松井、平野、中村、竹村
(下段、左より) 下畠、福島、松谷

役員 (2020年11月12日現在)

代表取締役会長	福島理夫	取締役	堺嘉弘
代表取締役社長	下畠学	常勤監査役	平野信昭
常務取締役	松谷裕	監査役	中村俊介
取締役	松井睦	監査役	竹村裕樹

会社の概要 (2020年11月12日現在)

商号	福島印刷株式会社
英文名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本店所在地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076) 267-5111(代)
設立	昭和27年9月10日
資本金	4億6,000万円
従業員数	450名
事業所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 東京営業部 東京都千代田区鍛冶町1丁目5番7号 江原ビルディング9F 西日本営業部 大阪市淀川区宮原5丁目1番28号 新大阪八千代ビル別館8F 富山営業所 富山市上袋708番地1 福井営業所 福井市和田東2丁目1718番地 さいたまサテライト さいたま市桜区町谷1-4-1 株式会社廣済堂さいたま工場内

株式についてのご案内

事業年度 8月21日から翌年8月20日まで
 定時株主総会 11月
 基準日 定時株主総会 8月20日
 期末配当 8月20日
 中間配当 2月20日
 その他必要があるときは、予め公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

単元株式数 100株
 上場証券取引所 名古屋証券取引所
 公告方法 電子公告により当社ホームページ (<http://www.fuku.co.jp/>) に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。

株主優待制度 8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、自社指定の株主優待を、ご希望に応じてお選びいただけます。

2020年11月発送予定



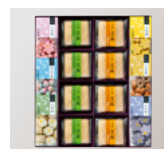
金沢五郎島金時



四十萬谷本舗
特選詰合せ



金沢
ゴーゴーカレーセット



加賀麩不室屋
「いろどり宝の麩」



ざぶん賞へ寄付